平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月9日

上場会社名　サイボー株式会社　　上場取引所　東
コード番号　3123　URL　http://www.saibo.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 飯塚　剛司
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役　(氏名) 藤井　孝男　TEL 048-267-5151

四半期報告書提出予定日　平成24年8月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	2,248	△9.4	349	△17.8	359	△15.5	215	△2.3
24年3月期第1四半期	2,481	13.4	425	1.4	426	21.0	220	32.0

(注)包括利益　25年3月期第1四半期　160百万円　(△30.5%)　24年3月期第1四半期　230百万円　(149.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	16.13	―
24年3月期第1四半期	16.15	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	26,649	14,009	45.4
24年3月期	27,088	13,943	44.4

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　12,090百万円　24年3月期　12,037百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	7.00	―	7.00	14.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		7.00	―	7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,429	△3.1	682	△1.4	680	5.9	376	△1.1	28.16
通期	9,030	△2.1	1,420	△6.3	1,395	△9.5	769	40.8	57.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	14,000,000 株	24年3月期	14,000,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	648,240 株	24年3月期	648,240 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	13,351,760 株	24年3月期1Q	13,640,538 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
３．四半期連結財務諸表 ……5
（１）四半期連結貸借対照表 ……5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……7
四半期連結損益計算書 ……7
四半期連結包括利益計算書 ……8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……9
（４）継続企業の前提に関する注記 ……11
（５）セグメント情報等 ……11
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかな回復の兆しはあるものの、欧州の財政金融不安による海外経済の減速、それによる長引く円高や株安、今夏の電力供給不安による事業活動への影響など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。そのような中で、個人所得の伸び悩みや雇用不安による個人消費の低迷などにより、当社グループにおける事業環境は、一部に円高の恩恵があるものの引続き厳しい状況で推移いたしました。

①　繊維事業

原糸販売は、長期化する円高により生産の海外移転が進み、４月以降取引先が集積する北陸地区の大幅な市況悪化の影響を受けるなど、主力の輸入ポリエステル糸の販売量が減少したものの、広幅織物向けレーヨンフィラメント糸は比較的好調に推移して僅かな増収となりました。

アパレル関係は、震災からの復興ムードの影響などから、法人ユニフォーム、スポーツ関連商品、販促用ノベルティなど売上は堅調に推移いたしましたが、百貨店関係は昨年の大口受注がなくなり、全体では減収となりました。

カジュアル縫製品関係は、当社の自社企画商品ユミカツラ（桂 由美ブランド）を百貨店にて販売していく路線が順調に拡大しているものの、他社ブランドの生産受注が落ち込み僅かな減収となりました。

刺繍レースを扱う栃木サイボー㈱は、震災の影響も薄れて、刺繍レースファッションの活発化による刺繍使いの商品の企画販売が増えて、大幅な増収となりました。

この結果、繊維事業の売上高は10億38百万円(前年同期比18.3%減)となり、営業利益は５百万円(前年同期比85.1%減)となりました。

②　商業施設賃貸事業

「イオンモール川口前川(旧称キャラ)」は近隣大型商業施設に比べ「回遊型ショッピング」ができるという利便性がお客様に評価されるなど、売上高は震災前の状態に戻っております。賃料収入面においては、二つの大型商業施設の防災設備の更新費用や火災地震保険料の費用増加があったものの、商業施設賃貸事業は引続き安定した収益基盤を維持しております。

この結果、商業施設賃貸事業の売上高は５億73百万円(前年同期比0.9%減)、営業利益は２億73百万円(前年同期比11.2%減)となりました。

③　ゴルフ練習場事業

埼玉興業㈱の「川口・黒浜・騎西の各グリーンゴルフ」練習場は、昨年に影響のあった震災による計画停電や自粛ムードが無くなり、引続き子供ゴルフ教室人気に見られる若年入場者の増加傾向が続いて、僅かな増収となりました。

この結果、ゴルフ練習場事業の売上高は２億62百万円(前年同期比0.6%増)、営業利益は53百万円(前年同期比3.1%減)となりました。

④　その他の事業

その他の事業においては、埼玉興業㈱の自動車教習所事業は、少子化・免許離れによる減少していた入校生が前年の同時期に比べて増加したものの、教習期間の長期化傾向が進み、減収となりました。

ギフト事業部の慶弔ギフト品販売は、長引くデフレ経済を背景に社会不安による倹約や節約意識が高まり低価格化や小口化が進み受注件数は増加したものの、減収となりました。ディアグリーン課の緑化事業も同様な背景から、主力のレンタル事業の拡販が伸びず併せて大口レンタル先のコスト削減の影響で、減収となりました。

自動車板金塗装修理事業は、トヨタ生産方式の生産性向上や自社見積り件数の増加など引続き売上増強策を推進して僅かな増収となりました。

インテリア施工事業の神根サイボー㈱は、大口工事の受注を獲得し、併せて関係会社の工事が増加したことから、大幅な増収となりました。

この結果、その他の事業の売上高は３億72百万円(前年同期比1.1%増)、営業利益は20百万円(前年同期比14.4%減)となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は、22億48百万円(前年同期比9.4%減)、営業利益は３億49百万円(前年同期比17.8%減)、経常利益は３億59百万円(前年同期比15.5%減)、四半期純利益は、２億15百万円(前年同期比2.3%減)となりました。

(２)連結財政状態に関する定性的情報

①　財政状態の分析

総資産は、有形固定資産の減価償却が進んだことや、現金及び預金が法人税等の支払により減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ４億38百万円減少して266億49百万円となりました。

負債は、未払法人税等が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ５億５百万円減少して126億39百万円となりました。純資産は、前期末の配当金の支払があったものの、四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べ66百万円増加して140億９百万円となりました。

②　キャッシュ・フローの状況の分析

当第１四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末に比べ３億31百万円減少して24億71百万円となりました。

営業活動により支出した資金は、前第１四半期連結累計期間に比べ５億４百万円増加し、１億34百万円となりました。これは主に法人税等の支払額の増加等によるものであります。

投資活動により支出した資金は、前第１四半期連結累計期間に比べ18百万円減少して33百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得や投資有価証券の取得による支出が増加した一方、投資有価証券の売却による収入が増加したこと等によるものであります。

財務活動により支出した資金は、前第１四半期連結累計期間に比べ２億４百万円減少して１億62百万円となりました。これは主に短期借入金の正味の返済による支出が減少したこと等によるものであります。

(３)連結業績予想に関する定性的情報

平成24年５月17日の決算短信で発表いたしました、連結業績予想から変更は行っておりません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第１四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,281,084	2,895,149
受取手形及び売掛金	969,104	1,038,507
有価証券	759,756	799,047
商品及び製品	530,377	652,323
仕掛品	14,931	11,784
原材料及び貯蔵品	48,580	50,623
その他	450,607	387,481
貸倒引当金	△757	△755
流動資産合計	6,053,687	5,834,162
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,885,293	10,771,241
土地	5,352,553	5,352,553
その他（純額）	77,301	69,354
有形固定資産合計	16,315,149	16,193,149
無形固定資産	98,547	83,045
投資その他の資産		
投資有価証券	4,145,344	4,013,582
その他	503,828	553,587
貸倒引当金	△28,129	△27,980
投資その他の資産合計	4,621,043	4,539,189
固定資産合計	21,034,739	20,815,384
資産合計	27,088,426	26,649,546
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	457,670	488,016
1年内返済予定の長期借入金	210,000	210,000
未払法人税等	594,440	100,853
賞与引当金	76,157	32,036
役員賞与引当金	6,200	1,462
その他	1,556,453	1,639,650
流動負債合計	2,900,921	2,472,019
固定負債		
長期借入金	1,015,000	962,500
退職給付引当金	200,375	211,113
役員退職慰労引当金	185,315	168,789
長期預り保証金	8,417,894	8,431,813
その他	425,724	393,439
固定負債合計	10,244,310	10,167,654
負債合計	13,145,231	12,639,674

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成24年６月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,402,000	1,402,000
資本剰余金	861,395	861,395
利益剰余金	10,076,699	10,201,125
自己株式	△359,818	△359,818
株主資本合計	11,980,276	12,104,702
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89,763	17,196
繰延ヘッジ損益	△32,762	△31,101
その他の包括利益累計額合計	57,001	△13,905
新株予約権	25,495	25,981
少数株主持分	1,880,422	1,893,092
純資産合計	13,943,195	14,009,871
負債純資産合計	27,088,426	26,649,546

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	2,481,293	2,248,293
売上原価	1,694,245	1,504,500
売上総利益	787,047	743,793
販売費及び一般管理費	361,473	394,028
営業利益	425,574	349,764
営業外収益		
受取利息	4,071	6,892
受取配当金	33,348	32,352
持分法による投資利益	－	6,815
その他	23,569	17,518
営業外収益合計	60,988	63,579
営業外費用		
支払利息	26,054	24,982
持分法による投資損失	25,514	－
有価証券運用損	－	26,360
その他	8,869	2,006
営業外費用合計	60,438	53,349
経常利益	426,124	359,995
特別利益		
投資有価証券売却益	－	3,000
特別利益合計	－	3,000
特別損失		
投資有価証券評価損	337	－
投資有価証券売却損	－	3,404
特別損失合計	337	3,404
税金等調整前四半期純利益	425,786	359,590
法人税、住民税及び事業税	182,208	105,380
法人税等調整額	1,661	22,146
法人税等合計	183,869	127,527
少数株主損益調整前四半期純利益	241,916	232,063
少数株主利益	21,566	16,712
四半期純利益	220,350	215,351

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	241,916	232,063
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,787	△68,809
繰延ヘッジ損益	240	1,661
持分法適用会社に対する持分相当額	△904	△4,707
その他の包括利益合計	△11,451	△71,856
四半期包括利益	230,465	160,207
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	208,087	144,444
少数株主に係る四半期包括利益	22,377	15,762

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	425,786	359,590
減価償却費	194,479	181,489
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△19,434	△150
賞与引当金の増減額（△は減少）	△48,634	△44,120
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△4,650	△4,737
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△9,590	10,737
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	2,206	△16,526
受取利息及び受取配当金	△37,419	△39,245
支払利息	26,054	24,982
持分法による投資損益（△は益）	25,514	△6,815
有価証券運用損益（△は益）	△3,031	26,360
投資有価証券売却損益（△は益）	－	404
売上債権の増減額（△は増加）	△246,265	△69,402
たな卸資産の増減額（△は増加）	△48,539	△120,840
仕入債務の増減額（△は減少）	135,665	30,346
その他	△1,499	106,610
小計	390,640	438,683
利息及び配当金の受取額	42,016	44,084
利息の支払額	△25,881	△24,810
法人税等の支払額	△36,621	△592,674
営業活動によるキャッシュ・フロー	370,153	△134,716
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△21,694	△44,252
有形固定資産の売却による収入	15	10
投資有価証券の取得による支出	△88,971	△160,981
投資有価証券の売却による収入	－	115,645
定期預金の増減額（△は増加）	57,486	54,517
貸付けによる支出	△10,500	△3,000
貸付金の回収による収入	10,500	3,000
その他	778	1,063
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52,385	△33,996

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	50,000	450,000
短期借入金の返済による支出	△250,000	△450,000
長期借入金の返済による支出	△52,500	△52,500
配当金の支払額	△93,032	△90,925
少数株主への配当金の支払額	△6,184	△3,092
その他	△15,593	△16,187
財務活動によるキャッシュ・フロー	△367,309	△162,704
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	－
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△49,542	△331,417
現金及び現金同等物の期首残高	2,622,678	2,802,531
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,573,136	2,471,114

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他(千円)(注)１	合計(千円)	調整額(千円)(注)２	四半期連結損益計算書計上額(千円)(注)３
	繊維事業(千円)	商業施設賃貸事業(千円)	ゴルフ練習場事業(千円)	計(千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	1,272,033	578,938	261,442	2,112,415	368,878	2,481,293	―	2,481,293
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,100	64,291	―	66,391	26,528	92,920	△92,920	―
計	1,274,133	643,229	261,442	2,178,806	395,407	2,574,213	△92,920	2,481,293
セグメント利益	40,304	307,924	54,879	403,107	24,467	427,575	△2,000	425,574

（注）１　「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車教習所事業、ギフト事業、自動車板金塗装修理事業、インテリア施工事業等を含んでおります。

２　調整額は、セグメント間取引消去であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他(千円)(注)１	合計(千円)	調整額(千円)(注)２	四半期連結損益計算書計上額(千円)(注)３
	繊維事業(千円)	商業施設賃貸事業(千円)	ゴルフ練習場事業(千円)	計(千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	1,038,863	573,731	262,896	1,875,491	372,802	2,248,293	―	2,248,293
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,100	64,291	―	66,391	63,186	129,577	△129,577	―
計	1,040,963	638,022	262,896	1,941,882	435,989	2,377,871	△129,577	2,248,293
セグメント利益	5,986	273,586	53,190	332,763	20,948	353,711	△3,946	349,764

（注）１　「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車教習所事業、ギフト事業、自動車板金塗装修理事業、インテリア施工事業等を含んでおります。

２　調整額は、セグメント間取引消去であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これによる当第１四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。